

2010年度上期決算概要と 年間業績予想

2010年11月4日

常務執行役員 野崎 邦夫



目次

P1 2010年度上期 決算概要

P4 2010年度年間 業績予想

P7 2010～2012年度 中期経営計画の経営目標

P10 財務体質の改善

P11 配当方針

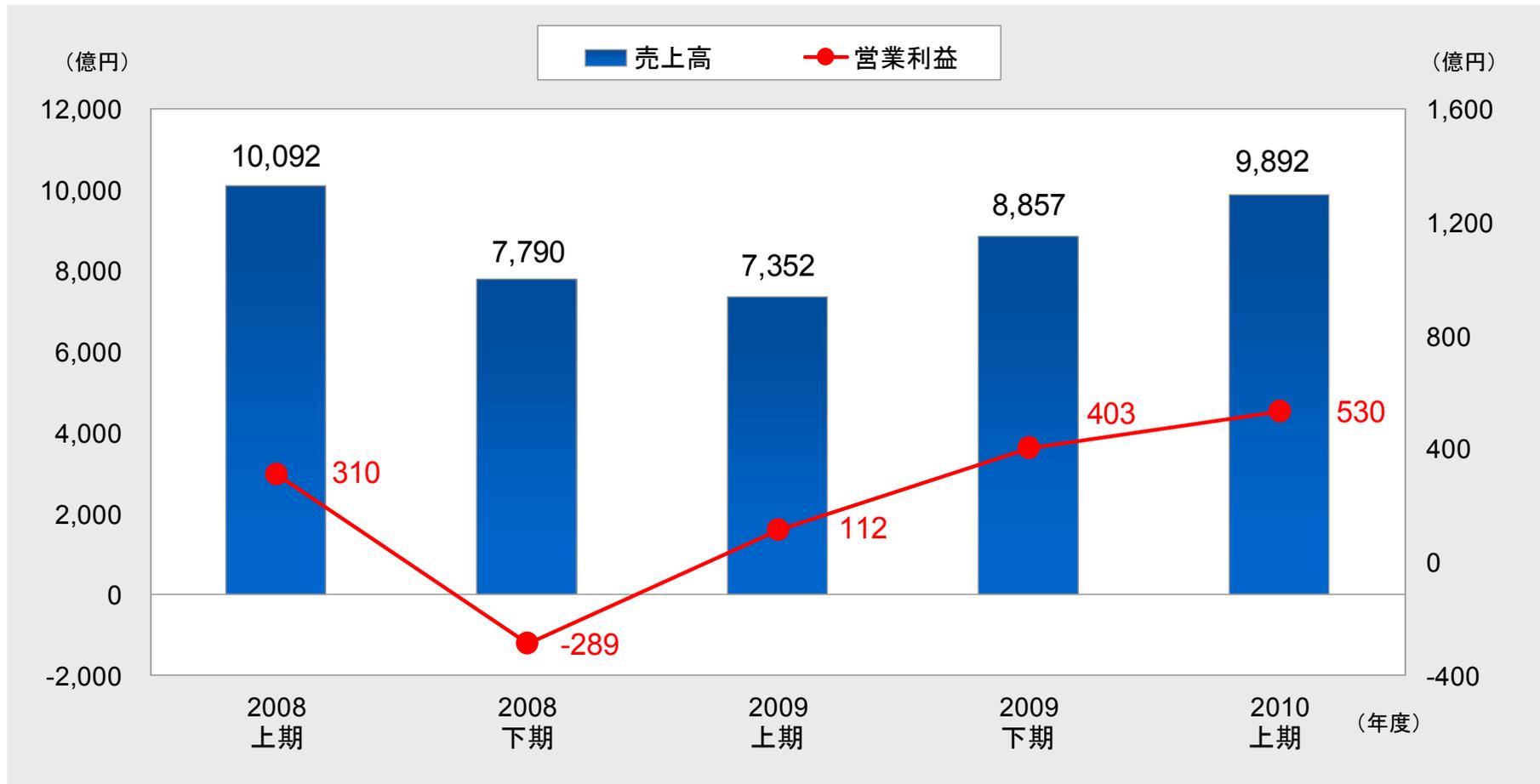
2010年度上期 決算概要

	2009年度上期	2010年度上期	前年同期比
売上高	7,352億円	9,892億円	+2,540億円
営業利益	112億円	530億円	+419億円
持分法投資損益	△14億円	75億円	+89億円
経常利益	78億円	521億円	+443億円
特別損益	△5億円	△296億円	△291億円
法人税等	△30億円	△109億円	△79億円
少数株主利益	△78億円	△91億円	△13億円
純利益	△35億円	25億円	+60億円
ナフサ価格	37,300円/kl	46,200円/kl	
為替レート	95.53円/ドル	88.91円/ドル	
中間配当金	0円/株	3円/株	

2010年度上期 決算概要／売上高・営業利益

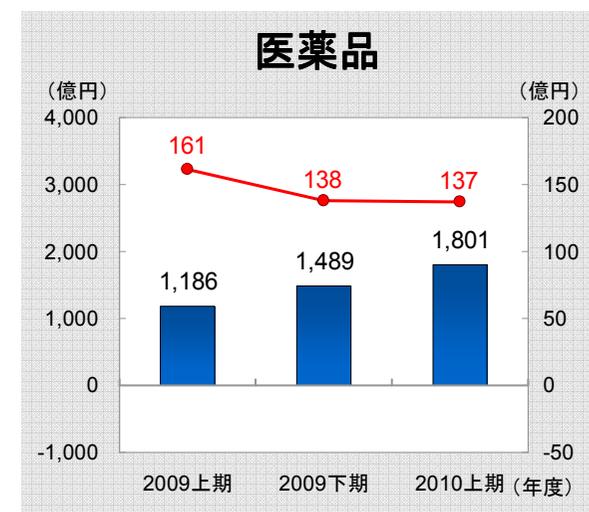
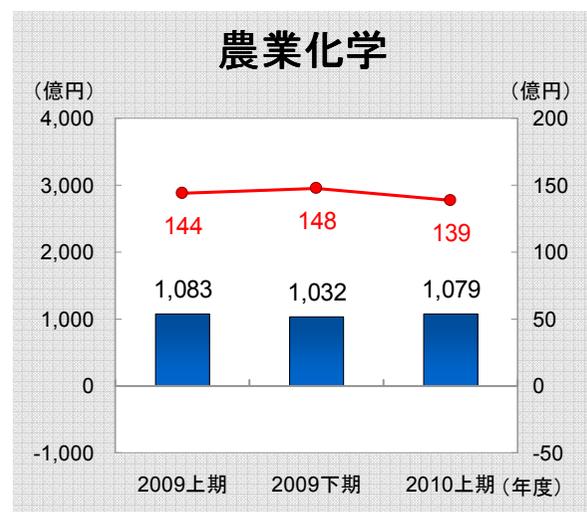
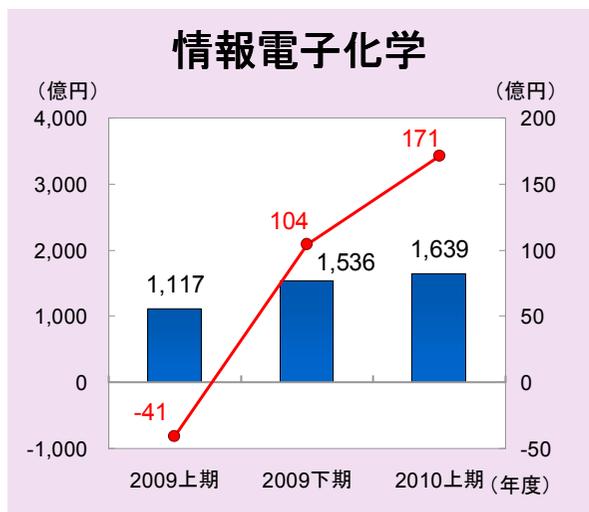
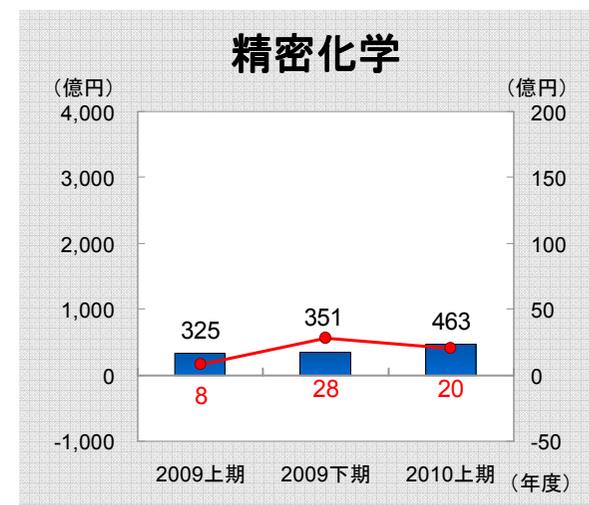
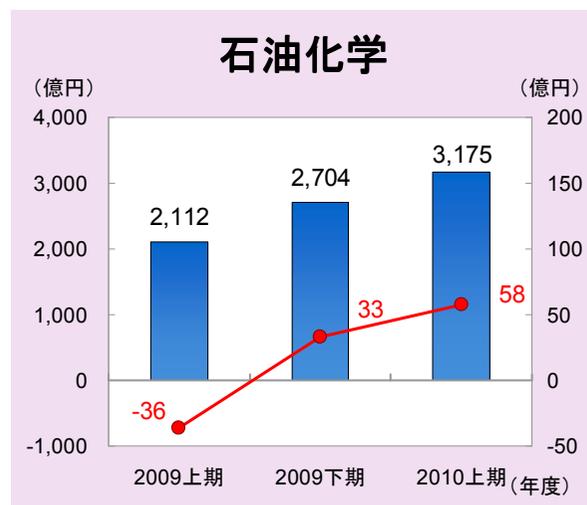
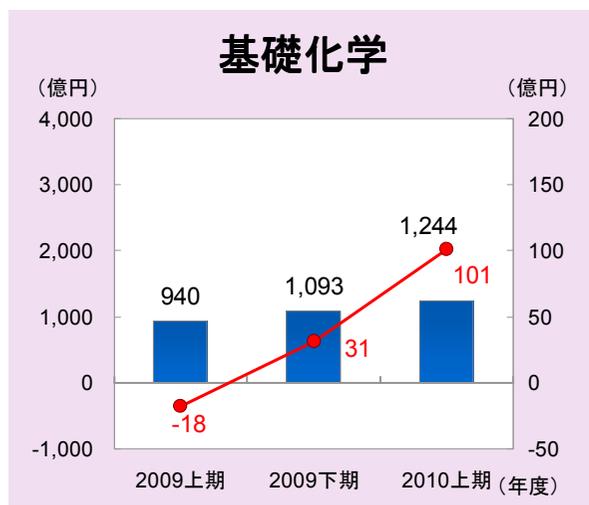
■ 売上高／2010年度上期 9,892億円 前年同期比+2,540億円

■ 営業利益／2010年度上期 530億円 前年同期比+419億円



2010年度上期 決算概要／部門別売上高・営業利益

■ 売上高(左軸) ● 営業利益(右軸)



2009年度は比較のためセグメント変更等による影響額を組み替えている。

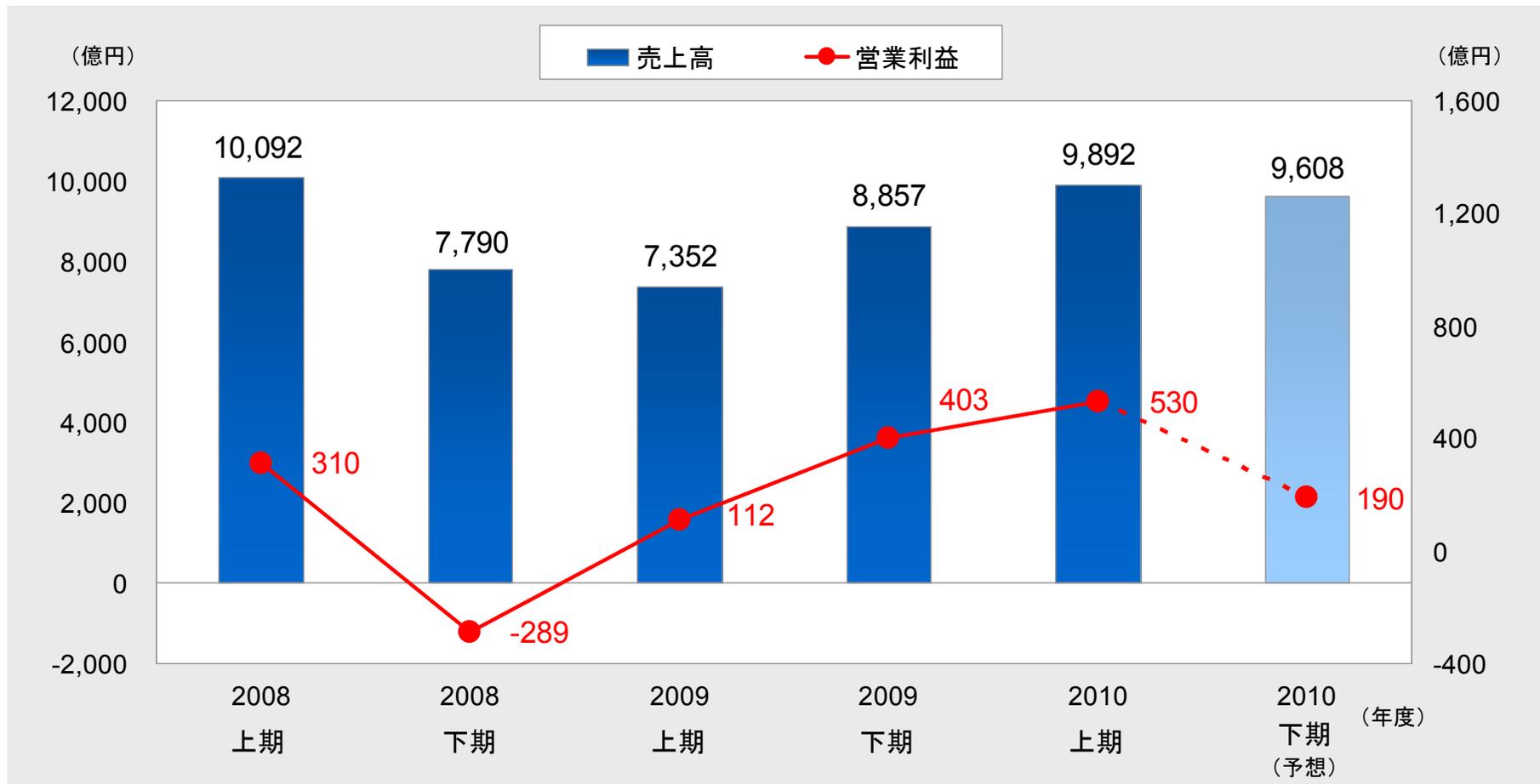
2010年度通期 業績予想

	2009年度	2010年度 (7月予想)	前期比
売上高	1兆6,209億円	1兆9,500億円 (2兆円)	+3,291億円
営業利益	515億円	720億円 (700億円)	+205億円
持分法投資損益	△70億円	110億円 (150億円)	+180億円
経常利益	350億円	620億円 (680億円)	+270億円
特別損益	63億円	△300億円	△363億円
法人税等	△113億円	△100億円	+13億円
少数株主利益	△152億円	△120億円	+32億円
純利益	147億円	100億円 (450億円)	△47億円
ナフサ価格	41,200円/kl	45,100円/kl (下期 44,000円/kl)	
為替レート	92.89円/ドル	84.00円/ドル (下期 80.0円/ドル)	
年間配当金	6円/株	9円/株	

2010年度通期 業績予想／売上高・営業利益

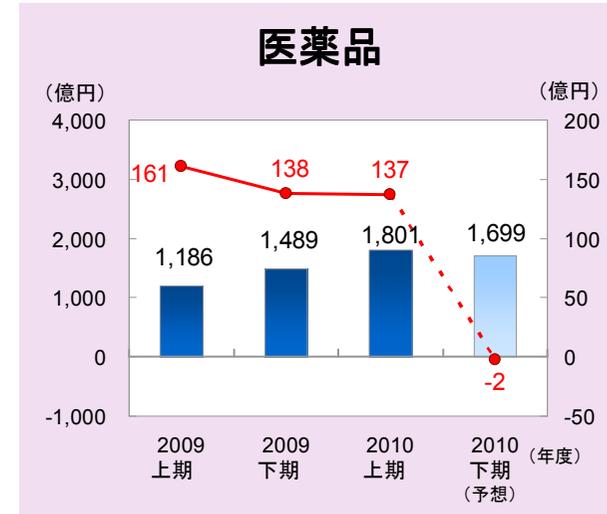
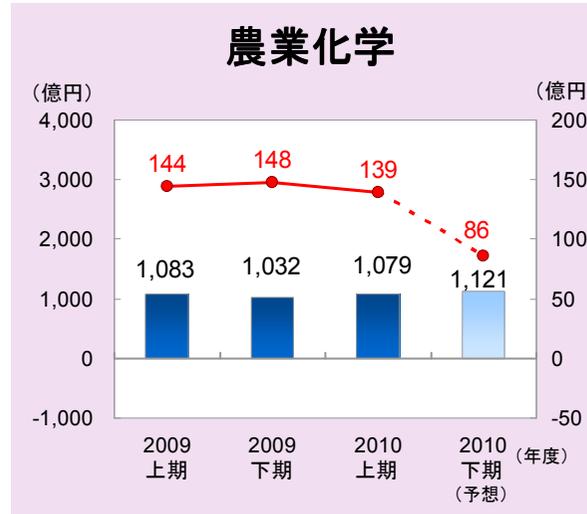
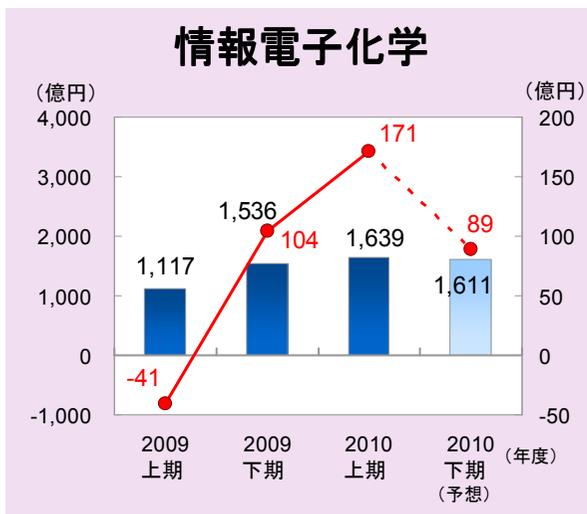
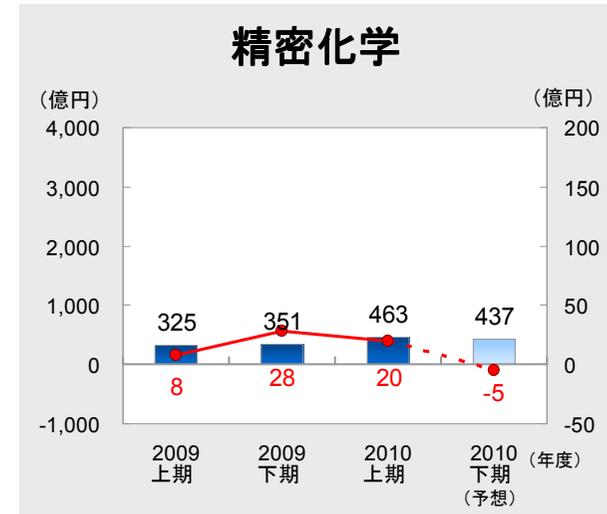
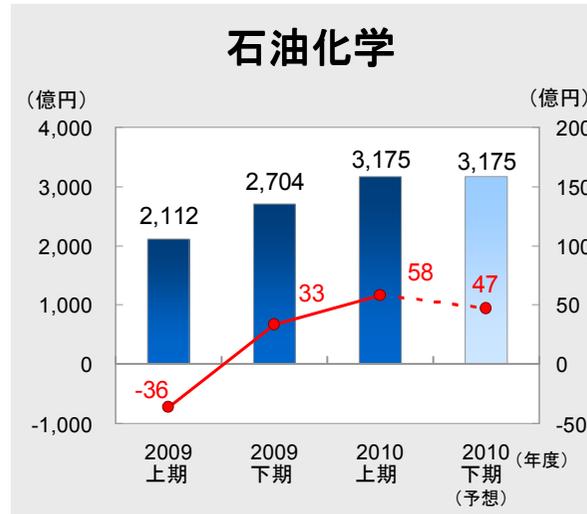
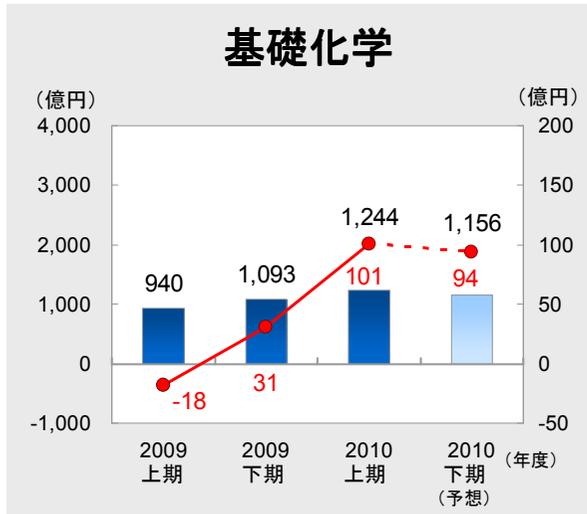
■ 売上高／2010年度通期予想 1兆9,500億円 前期比+3,291億円

■ 営業利益／2010年度通期予想 720億円 前期比+205億円



2010年度通期 業績予想／部門別売上高・営業利益

■ 売上高(左軸) ● 営業利益(右軸)



2009年度は比較のためセグメント変更等による影響額を組み替えている。

2010～2012年度 中期経営計画の経営目標

7つの 基本的な取り組み

<p>4. 事業成長の スピード加速</p>	<p>5. 気候変動対応戦略の 積極的推進</p>	<p>6. グローバル経営 システムの強化</p>	<p>7. コンプライアンスの 徹底、安全・安定操業 の維持・継続</p>
<p>1. 先行投資からの収益・ キャッシュフローの 早期獲得</p>	<p>2. 財務体質の強化</p>	<p>3. コア事業・基盤事業 のコスト競争力の 一層の強化</p>	

中期経営計画の経営目標

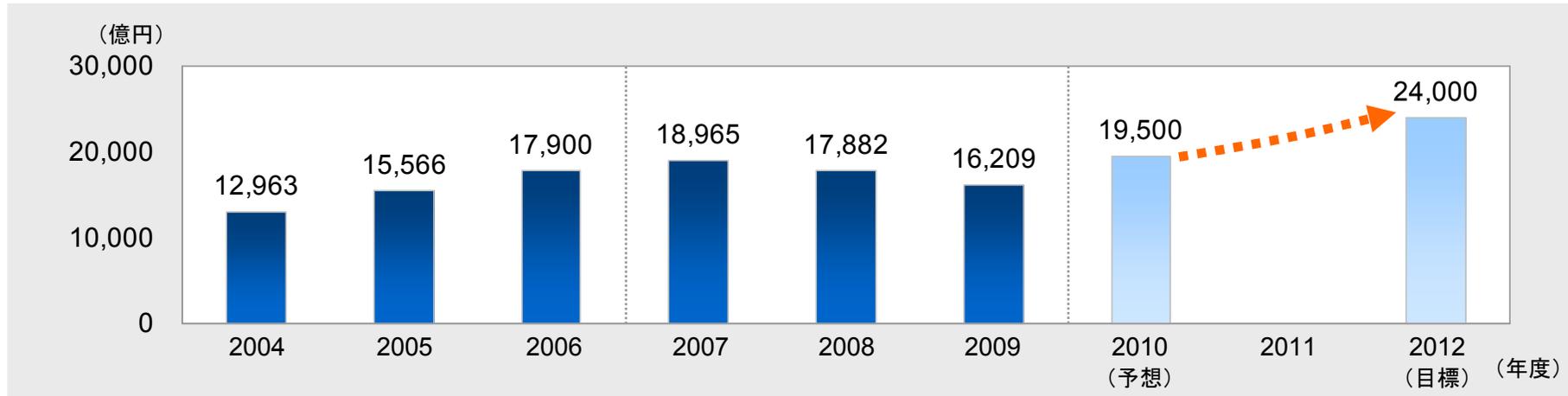
2012年度目標

売上高	2兆4,000億円	
営業利益	1,900億円	
経常利益	2,200億円	(うち持分法投資利益400億円)
純利益	1,400億円	

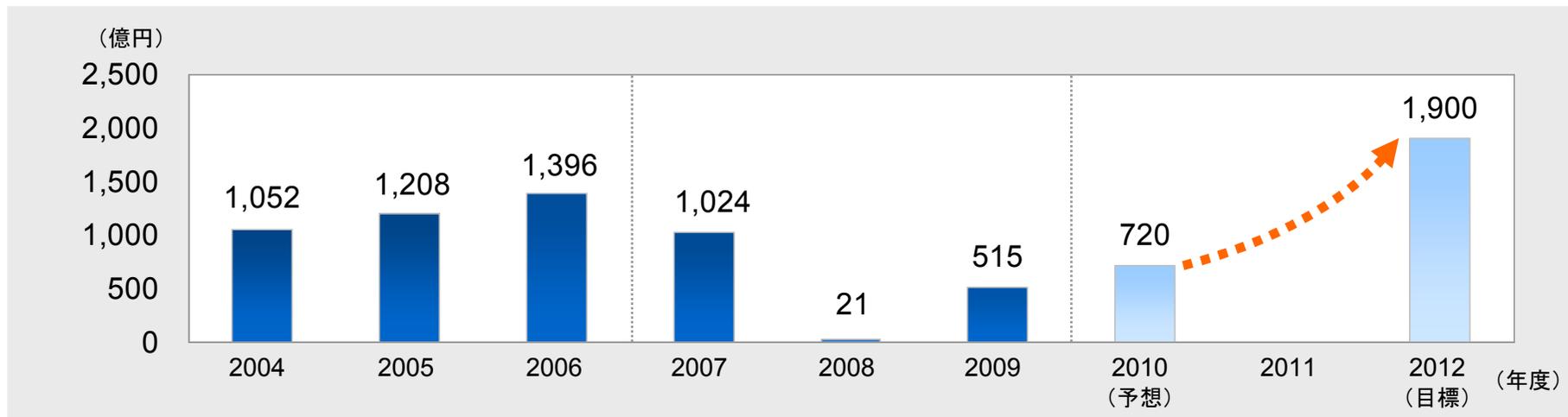
	(前提)
為替:	90円/ドル
ナフサ:	50,000円/kl
原油:	85ドル/バレル

2010～2012年度 中期経営計画の経営目標

売上高の推移

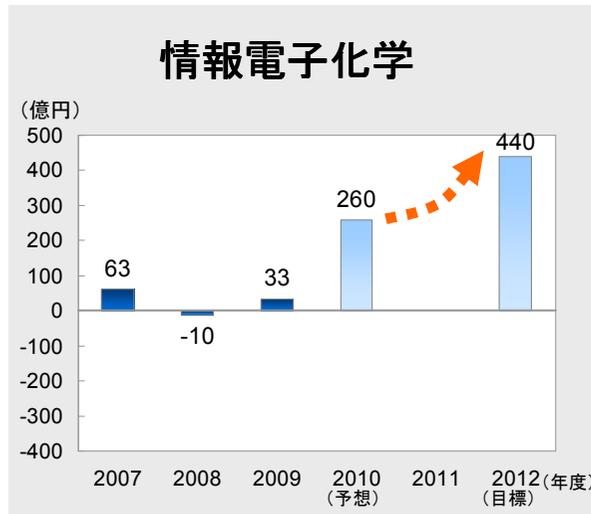
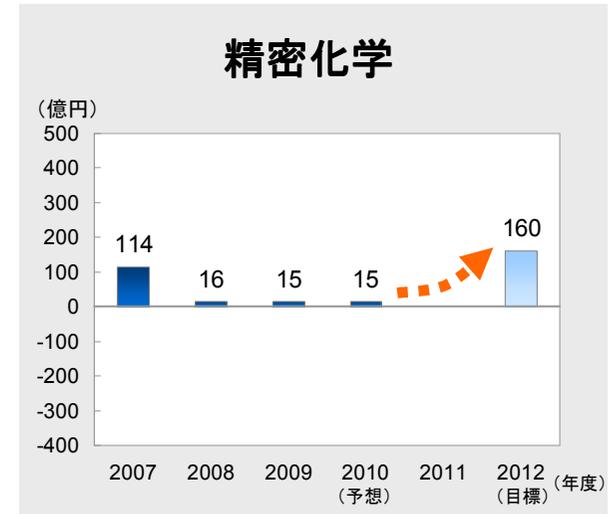


営業利益の推移



2010～2012年度 中期経営計画の経営目標

部門別営業利益の推移

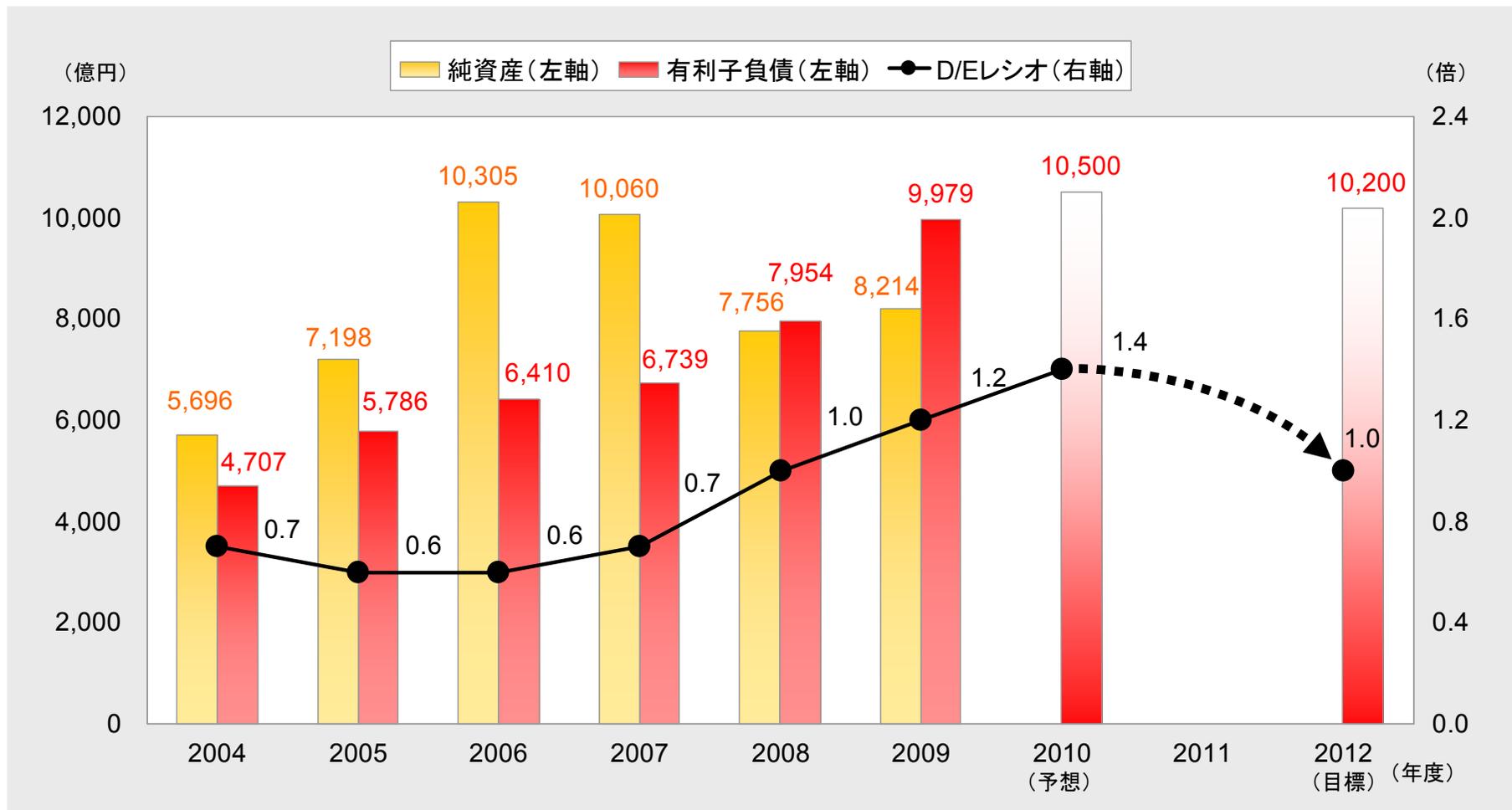


2010年度から全社共通研究費等の配賦方法の見直し等を行っている。

財務体質の改善

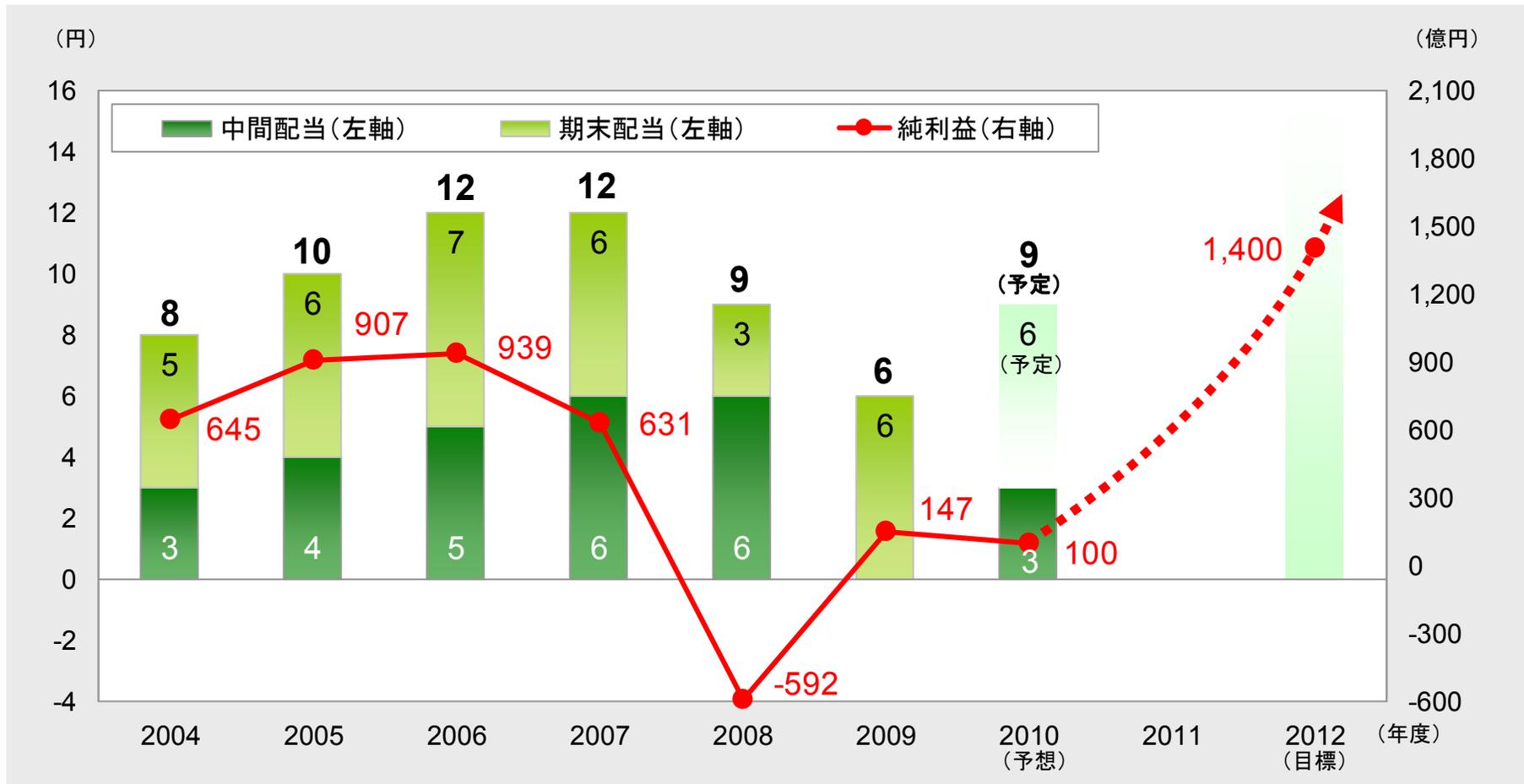
■ 純資産・有利子負債・D/Eレシオ

有利子負債は2010年度をピークに改善に向かう



配当方針

- 当社は、剰余金の配当の決定にあたり、株主還元を経営上の最重要課題の一つと考え、各期の業績、配当性向ならびに以後の事業展開に必要な内部留保の水準等を総合的に勘案し、安定的な配当を継続することを基本としております。



Creative Hybrid Chemistry



注意事項

本資料に掲載されている住友化学の現在の計画、見通し、戦略、確信などのうち歴史的事実でないものは将来の業績等に関する見通しです。これらの情報は、現在入手可能な情報から得られた情報にもとづき算出したものであり、リスクや不確定な要因を含んでおります。実際の業績等に重大な影響を与える重要な要因としては、住友化学の事業領域をとりまく経済情勢、市場における住友化学の製品に対する需要動向、競争激化による価格下落圧力、激しい競争にさらされた市場において住友化学が引き続き顧客に受け入れられる製品を提供できる能力、為替レートの変動などがあります。但し、業績に影響を与える要素はこれらに限定されるものではありません。